

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人立花学園 立花高等学校	階数	地上5F、地下1F
建設地	福岡県福岡市東区和白丘2丁目687	構造	RC造
用途地域	市街化区域、22条区域	平均居住人員	570 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,200 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年5月25日
敷地面積	14,236 m <sup>2</sup>	作成者	松尾建設㈱
建築面積	1,333 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	5,339 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%  
② 建築物の取組み: 81%  
③ 上記+②以外の: 81%  
④ 上記+: 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 1  
LR3 敷地外環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建物内部は利用者の健康・快適さ、外部は環境配慮を重視した設計になっている。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
<b>Q1 室内環境</b> 高い昼光率および自然換気性能有し、利用者の健康に配慮した計画を行っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 教室の天井高2.8mにより、開放感および空間にゆとりがある計画となっている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 高い空地率により、風の通り道を確保している。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備システムの高効率化に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水器具の採用による資源の浪費を抑えている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物の高さや形状を考慮することで風通しを良くし、敷地外への熱的な影響を低減。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと